

会場いっぱいの“花”に包まれ / 「野中秀司絵画展」を開催

5月29日(月)～6月4日(日)、和田公民館で開催された「一期一絵」野中秀司絵画展を鑑賞させていただきました。今回のテーマは「花」ということで、油絵に本格的に取り組み始めた学生時代～初期、30代～40代、50代に分けて50点が展示されていました。描いた時の気持ちや感情が画面に表われているということで、一枚一枚どんな気持ちで描かれたのかと思いを巡らせながら見させていただきました。

また、お祝いにいただいた花は、会場の入口や受付に飾った後アトリエに飾り、枯れてしまわないうちに一生懸命に描かれるそうで、「枯れてしまっても絵という形で思い出として残すことができる」なんてとても素敵だと感じ、野中さんの優しさを絵からもエピソードからも感じ取ることができました。

次回の開催を楽しみにしています。蘇我 永田



描き続けた花の作品と野中先生



和田の世帯数・人口

| | |
|-----|--------|
| 世帯数 | 1,497戸 |
| 人口 | 4,112人 |
| 男 | 2,002人 |
| 女 | 2,110人 |

(令和5年.7.1現在)



コロナにも、暑さにも負けずいざ公民館を出発!

6月18日(日)に、4年ぶりの和田地区ウォークラリーが開催されました。当日は天候にも恵まれ、大勢の方が参加されました。コースは和田町、蘇我西原、殿の方面の約6・5キロで、途中に10カ所のチェックポイント(無極寺、窪田空穂記念館、竜田の石、蘇我公民館、コウヤマキ、西原公民館、河西西部地域包括支援センター、和田神社、萬年寺、殿公民館)があり、7カ所ではその場所にちなんだ問題が出題され、(例・無極寺では浄土宗を開いたお坊さんの名前はなんというでしょうか?)、選択方式で答え

4年ぶりの和田地区ウォークラリーに参加して



竜田の石の問題は難しいね

を解きました。3カ所ではゲームを楽しみました。問題を解いていると知らないことばかりで、勉強になりました。特に竜田の石には、驚きました。話には聞いていましたが、水田の土手にあり、正直私は初めて見ました。この時ウォークラリーに参加して良かったと思いつつ、一緒に歩いた方と話をし、周りの景色を楽しみ、ゴールを目指しました。ゴールの和田公民館に着いた時はほっとしました。後表彰式が行われ、久しぶりに地域の方と交流ができ、疲れましたが、楽しいウォークラリーでした。

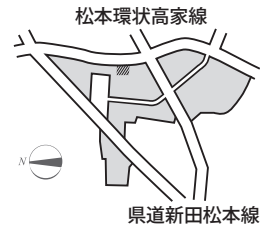
南和田 長谷川



ガイドさんの説明を真剣に聞く参加者

人権視察研修に参加して
6月30日(金)、初めて人権視察研修に参加しました。研修先は松代大本営地下壕で、目的は戦後78年が経過した今、世界では戦争による不当な人権侵害が行われている現状に目を背けず、平和の大切さを考える機会とするためです。地下壕は当時のままの状態で保存されており、壕に入るや否や硬い岩盤壁・暗さ・圧迫感・寒さ等々強烈な恐怖を感じ、ましてやこの仕事に従事した多くの人々の事を思うと想像を絶します。今回の研修を通して真に人権の重要性、平和の大切さを実感した次第です。
和田町 窪田

松本臨空工業団地(株)関一精機紹介



松本市和田地区の皆さん、こんにちは。

種産業用機械の部品を中心とした金属製品の切削加工を行っている会社です。県道48号松本環状高家線沿いの建物をご覧になられている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。



【現在の本社工場】

しました。その後、1989年の第1工区分譲の際に松本臨空工業団地に工場を新築した1期生です。その後第1工区の工場が手狭になった為、2013年の第7工区分譲にあたり現在の場所へ増床・移転することになりました。従い

まして今年で創業40周年。現在の場所へ移転して10周年となります。

当社の強みは、サイズの大きな金属製品を加工できる設備と、一品から量産まで材料手配からメッキや塗装といった表面処理を含め数多くの協力会社と連携して対応できるところです。

加工している素材も、鉄はもちろんアルミやステンレス、鋳物から溶接物まで多種多様であり、自動車、半導体、エネルギー産業等多様な業界に貢献していることも大きな特徴の一つとなっております。品質に関してはISO9001認証

取得し品質管理や教育体制など常に進化を続けております。また環境に対してはISO14000認証を取得し、有害物質の排出や資源の有効活用に留意しつつ環境保護活動にも積極的に取り組む、地域社会や未来に貢献する企業でありたいと考えています。

弊社のもう一つ面白い特徴としては、ITやDXの推進がとて盛んであること



【社内教育の様子】



【大物部品加工の様子】

が挙げられます。従業員は全員(ベトナムやミャンマー)の技能実習生から定年後再雇用のベテラ

ンまで、iPadやPCを持っており、社内の連絡事項や有給休暇の申請といった総務事務だけでなく、生産管理システムから経理システムの連携等ほとんどすべてがオンラインで行われております。

また従業員の育成環境にも大変力を入れております。変化し続ける業界環境に対応できるような技術を追求するだけでなく、幸せに働くとは？やりがいや生きがいとは？といった人間的な成長も目指しております。



【弊社HP】

すばらしかったファミリーコンサート

6月24日(土)、和田公民館の大会議室において、アルパ奏者・川窪裕子さんによるコンサートが開催されました。

アルパはパラグアイの楽器で、小指は使わず爪で弦を弾いて演奏し、楽譜が無いので、先生の演奏を見て真似しながら学ぶそうです。本場であるパラグアイの曲から始まり、最後のアンコールで演奏していただいた「糸」まで、指先で奏するアルパのキラキラとした美しい音色に包まれ、梅雨の晴れ間にとても癒されたひとときでした。そして、皆さん優しい気持ちになってお帰りになったと思います。 太子堂 渡辺



アルパの音色に魅了されて

ひまわり



和田地区の皆様、編集後記のタイトルが毎月変わっていることをご存じでしたか？毎月開催している館報編集委員会の席で、発行する季節に合わせタイトルを変えようとの提案があり、今月号のタイトルが『ひまわり』になった次第です。

『ひまわり』から私が思い出すことは、15年前、出張で訪れた真夏のチェコのみまわり畑です。見渡す限り黄色一色！真っ青な空とのコントラストが本当に見事！絶景でした。皆様にご紹介しようと思い、当時の写真を探しましたが結局見つかりませんでした。今思えば、その時に整理整頓をしておけば『後悔先に立たず』です。

まだまだ暑い日が続きませんが暑さにめげず、その時にしなければならぬ事は即実行！身に染みました。

館報編集委員 和田町 窪田